

MCC雑感—2006—3

2006-3-16

出席者16名

コーヒータイトム参加10名

2006年3月のMCC例会は徳田さん、大塚昭さん、亀山さんが欠席、で参加者は16名と、先月に続いて盛況であった。

*先ずはWBC観戦

1時半に集まった我々はひたすらWBCのテレビ中継に見入ってしまった。



8回、2番手の杉内投手が1死から四球を出すと、次打者にはセンター前ヒット。この当たりで一気に三塁を狙った一塁走者を金城中堅手の好返球でアウトにしたかと思われたが、サードの今江が痛恨の落球。1死二、三塁とピンチが広がると、ここで藤川が李鍾範に左中間を破られ、2者の生還を許した。(左写真は今江のタッチー落球の瞬間)

結局は9回西岡のホームランで一点を返したものの、日本は韓国に2-1で敗れて、二次リーグ突破は絶望となってしまった。

MCCには生来野球には関心が無いという人もかなり居られるのだが、この日ばかりは野球の結果が気になってMCCは始められない。遂に定刻を1時間オーバーして、2時半まで野球観戦タイムとなってしまったのだ。

* 田中さんの新鋭機



3月10日の秋葉大集合が私と矢野さんの風邪によりオジャンになってしまい、皆さんにご迷惑をおかけしたのだが、取敢えずの最初の目的であった田中さんの新鋭機機種選定をM C Cの前に久保田、矢野、田中の3人がラオックスに集合して検討した。

結果としてDELL 4100を一応の候補として選んだ。

永年のジャコバン離脱はかくて決定したのだが、その仕様は

CPU : Pentium-4、3.0GHz

RAM : 512MB

HDD : 160GB (2パーティション)

モニター : 19インチ液晶 ビデオキャプチャーボード付き

ソフト : XP、Office (Word, Excel, Outlook), ノートン15ヶ月

保証 : 4年鑑

これで14万円というのは格安ではないだろうか？

* 小島さんのPCライフ

二ヶ月ぶりに登場した小島さんが、最近のPCライフを紹介された。

印象に残ったのはデータのバックアップを写真、マイドキュメントなどを中心に全部やり直し、且つCDに保存したとのこと。地道なご努力に敬意を表したい。

付言された最近の料理が趣味に加わったというのには、少なからず驚かされた。

若かりし頃、ロスアンゼルスのアパートで馴れない包丁さばきで蓮根を煮たのはよいがすっかり焦がしてしまっ食べられなかったことなどを思い出したから・・・

* 住所録の整理

2月の宿題は「住所録の整理」だった。

メンバーの大半は「筆まめ」を使用して年賀状の宛名書きはほぼ出来ているのだが、これを一覧表の日常使う住所録に作り直すということは未だしの感がある。

宿題のMCCメンバー一覧作成を「筆まめ」からデータをエクセルにエクスポートして作成された方はあまり居らず、エクセルに直接入力して改めて作成したというのが多かった。そのために後半は住所録というよりはエクセル講座に変形してしまい、これはこれでやり始めれば奥が深いので、何となく中途半端な形で3月が終わってしまった。初級講座というものは所詮入口を撫でているようなものになってしまう。

矢野さんの住所録一元化は示唆に富んだ提案であった。

つまり住所録は元帳を一つ作り、それを都度加筆訂正、或いは修正しながら保存すべきで、使い勝手のよい日常的住所録はその元帳から必要部分を抽出して作ればよいが、住所変更などがあった場合は、必ず元帳で訂正するを原則とせよというものである。

これは経験則として貴重なご意見である。

因みに私は毎年住所録をアップデートし、年数を入れることにして古いものはそのまま年数別に残して置くという方式を取っている。

これはカミサンの生徒の名簿のように苗字が変わったり、子供が増えたりすることの多い年齢層を抱えた住所録を作る為の智恵ではあるが。

*パソコントラブルの後日談

私が3月始めに遭遇したメール発信が出来なくなるというトラブルについては、既に「パソコンのトラブルー15」で詳しくご紹介したが、その後も実はトラブルの後遺症はあった。

と、云うのはメールを作成して「送信」ボタンを押すと一度ですんなり送信される時もあるし、エラーとなることもあり、そのような場合、メールは送信済みアイテムには入らず、送信トレイに入ってしまう。

これを送信するには送受信ボタンを押すのだが、それも必ず二回やらないと送信されないという問題で、これがランダムに生ずるので、その原因が何故か判らずにずっと悩み続けていた。

この話をすると、席上副島さんが私も全く同じ経験をしているというのである。

この理由は帰宅後判明したのだが、実はプロバイダーにその原因があったのだ。我々のプロバイダーは丸紅系の Famille なのだが、この業者は POP before SMTP というのが原則で、メール送信をしようとするときまずユーザー認証手続きとして、受信を行なおうとするのだが、その時サーバーの受信トレイにメー

ルが無いとエラーになってしまうというのである。そこで送受信ボタンを押すと、先ず受信から始めてトレイが空なのでまたエラーになるが、そのコマンドによりユーザー認証が行なわれるので、次には送信が行なわれるという仕組みなのである。

このようなトラブルは

イ) パソコンの不調なのかと思ってハードディスクスキャンをする

ロ) ノートンのせいかと考えてノートンを触ってみる

ハ) インターネット或いはメーカーの故障かと思って設定を変えてみる

等々原因を探るために夥しい時間を要するのだが、結果が得られない。

最後に思いついたのがプロバイダーの不具合なのだが、ここにトラブルの原因があったとは！

しかもこのエラーがランダムに生ずる理由は、受信が行なわれるとその後10分間はこの認証が生きているということで、すんなり送信は出来るということ。10分間というのは **Famille** の決めた設定で、一般には公開されておらず、テクニカルサポートも明瞭に説明してくれないので、ユーザーとしては悩みに悩むということになってしまうわけだ。

* Winny について

メンバーの誰かが最近話題になっている Winny について質問され、矢野さんが明快に解説された。

Winny (ウィニー) は、P2P の技術を利用した、Microsoft Windows で動作するファイル共有ソフトである。電子掲示板サイト 2ちゃんねるのダウンロードソフト板での議論から生まれた。開発者は、元東京大学大学院情報理工学系研究科助手・金子勇。開発を宣言した 2ちゃんねるのスレッドのレス番号から「**47氏**」と呼ばれた。



主な使用用途は、PCに取り込んだDVDやCDの中身をやり取りするなど、著作権を侵害した違法なファイルの交換であり、このソフトウェアの名称の由来は、開発当時に流行し

ていた同様の用途に主に使われていた P2P ソフトである WinMX の次を目指す、という意味を込めて、WinMX → WinNY(N と Y はそれぞれ M と X の次にくるアルファベット) → Winny という意味合いで命名された。開発者逮捕時の Winny 最新版は「Winny 2.0Beta7.1」であり、このほかにもクラック版として開発者非公認のバージョンが出回っている。現在のユーザー数は 35 万~45 万人程度。

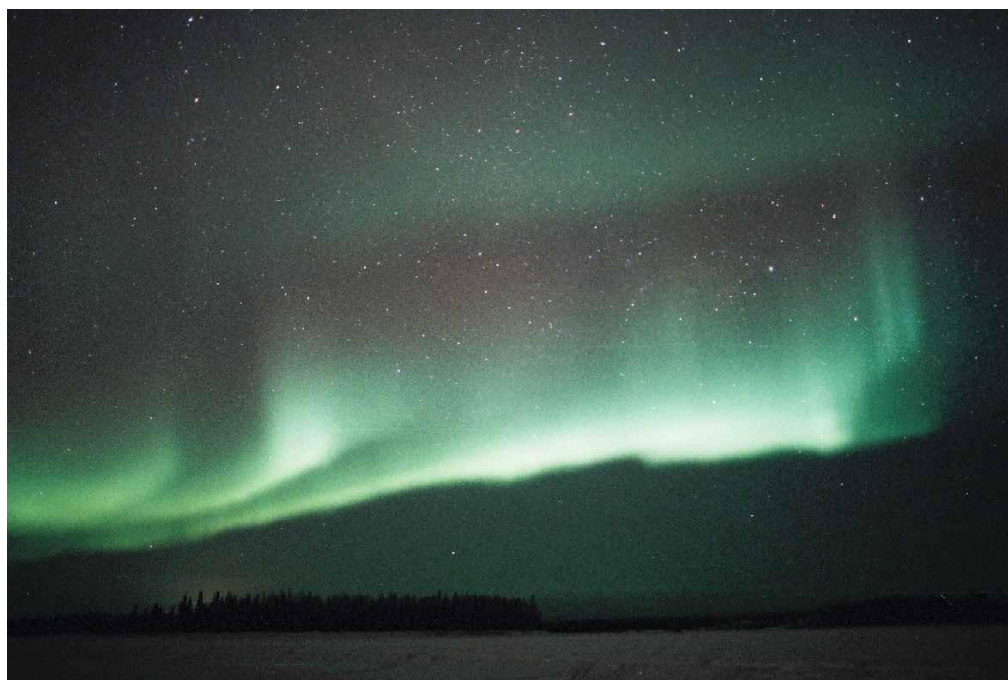
註： 不特定多数の個人間で直接情報のやり取りを行なうインターネットの利用形態。また、それを可能にする「Napster」などのアプリケーションソフト。多数のコンピュータを相互につないで、ファイルや演算能力などの情報資源を共有するシステムである。

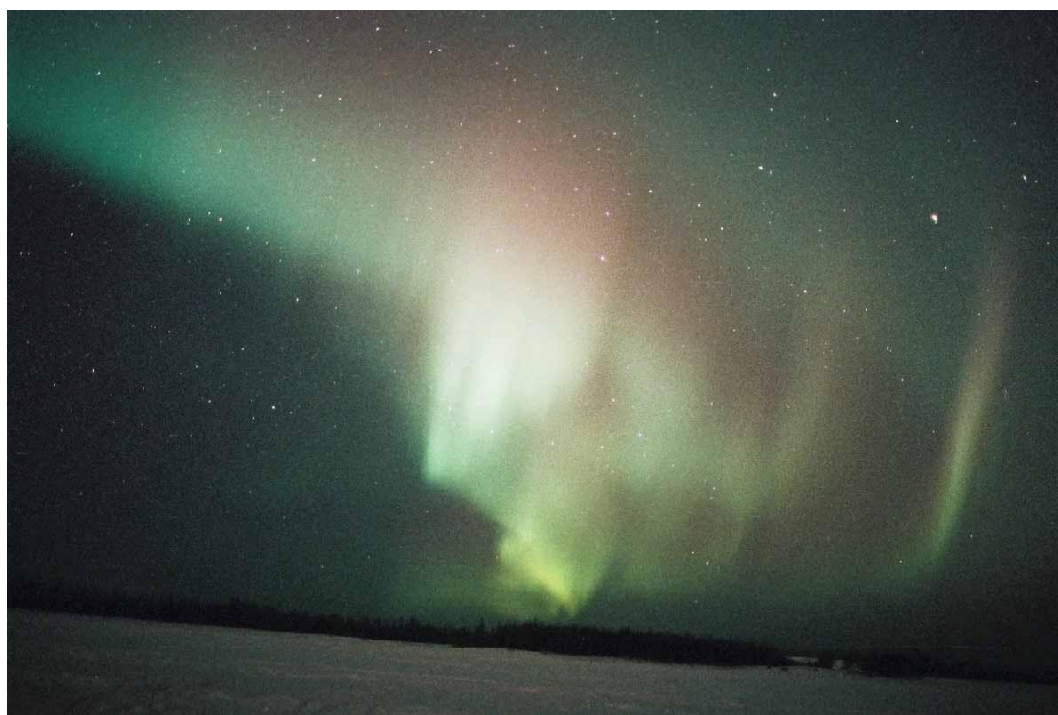
* 荒川さんのオーロラ紀行談

この日の圧巻は荒川さんが帰り際にご披露されたフェアバンクスでのオーロラ体験記である。 実際に見たことがあると言う人は他には居ないし、現実に存外幸運に恵まれないとわざわざ北極圏に出かけて行っても簡単には見れないものようだ。

極寒の撮影の苦労話や、デジカメが零下 30 度では電池が凍ってしまって用をなさない、結局頼りになるのは数十年前の銀鉛フィルムを使う古典的なカメラであるという話など色々面白いのだが、やはり写真の威力は言葉に優るもので、皆さんしばし感激的に見入ってしまった。

実物を見た人からすれば物足りないのであろうが、特にお許しを頂いて数枚をご披露し、今月の雑感の締めくくりとしたい。





* 康さんの白河郷紀行

わざわざノートパソコンを持参されて雪の白川郷の写真がご披露された。

フォトアンジェロの技術もすっかり身に付いていて、旅行写真集の紹介は面白いものなのだが、如何せんオーロラの後では今ひとつ迫力が無いのは残念。



追記： この原稿の途中で WBC のメキシコ対アメリカ戦でメキシコが勝つ、それも 2 対 1 という真にお誂え向きの勝利というニュースが入った。日本が首の皮一枚で二次リーグを突破したのだ。

ビバ・メヒコ！！ くたばれ USA！！！！



—以上—